

経済レポート

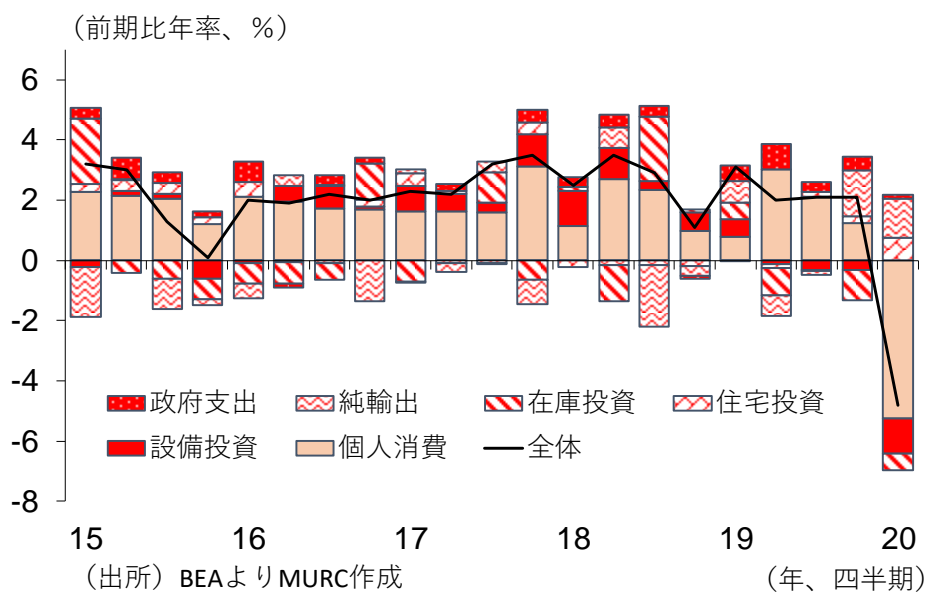
米国景気概況(2020年5月)

調査部

概況 ～ 景気は急速に悪化

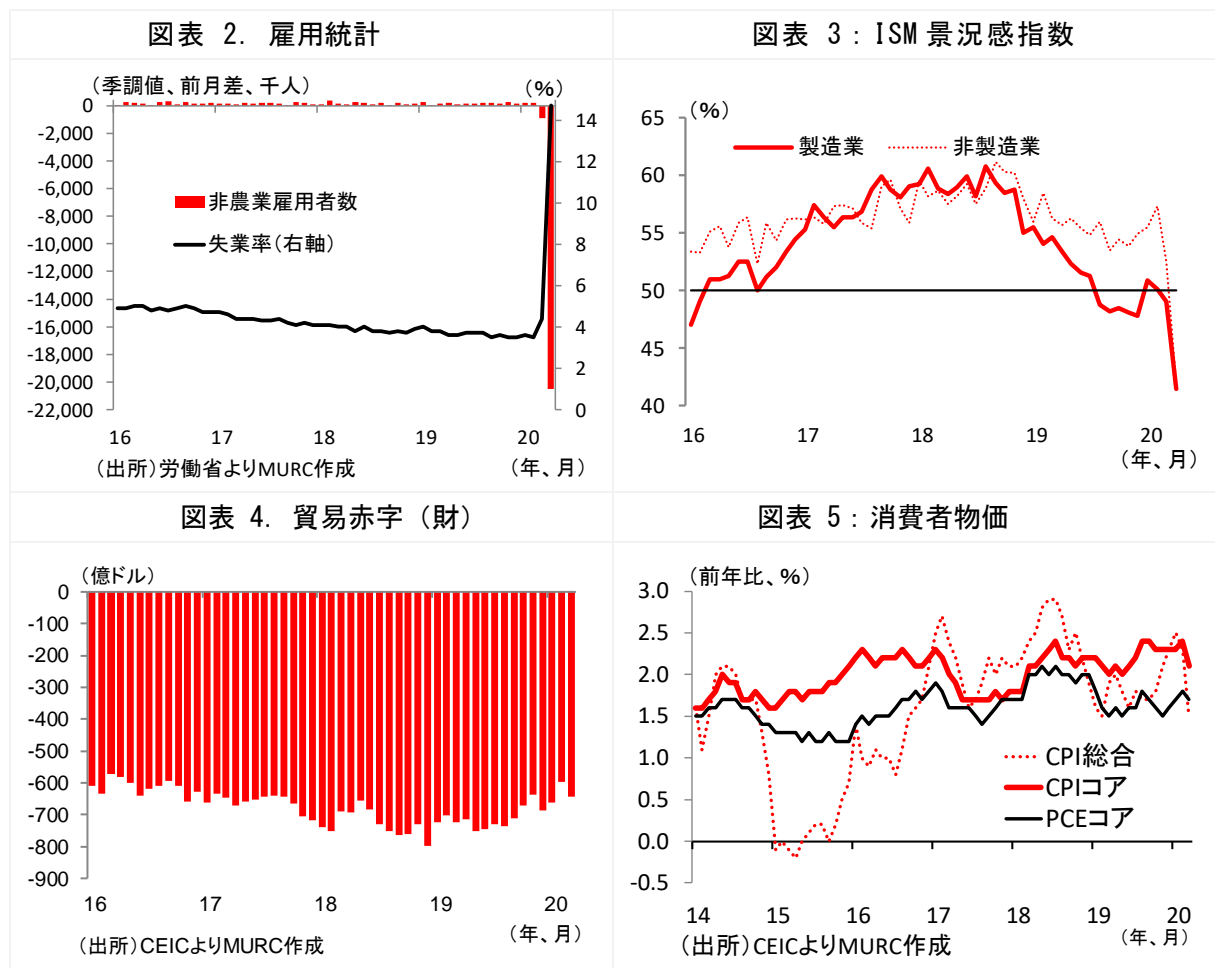
- ・ 米国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で急速に悪化している。第1四半期の実質 GDP 成長率は前期比年率▲4.8%と、リーマンショック時の2008年以来の大幅減少となった。厳しい外出制限にともない、運輸、飲食・宿泊関連の需要が急減したほか、企業の生産活動の休止が相次いだ影響による。
- ・ 需要項目別には、個人消費（同-7.6%）が最大のマイナス寄与に転じたほか、設備投資（同-8.6%）、在庫投資（-0.5%pt）の下押しが続いた。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大が長期化しており、第2四半期の経済成長率は一段の悪化が見込まれる。政府、FRBは相次ぎ対策を打ち出したが、外出制限などによる経済の落ち込みが深刻になっている。このため、新規感染者数にピークアウトの兆しがみられることもあり、外出制限が一部緩和され経済活動が徐々に再開され始めた。もっとも、感染拡大がこのまま収束するか見通しがたたず、景気の不透明感が強い状況がまたしばらく続くとみられ、今年の実質GDP成長率は▲5.5%と、第二次世界大戦終戦直後の1946年（▲11.6%）以来の落ち込みとなる見通しである。

図表1：実質 GDP 成長率の推移（速報値）



【経済指標】

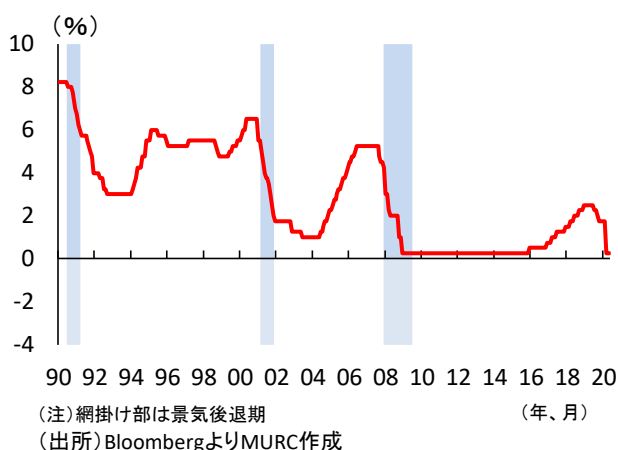
- ・ 4月の非農業部門雇用者数は前月差2050万人減少し、失業率は前月の4.4%から14.7%に上昇した（図表2）。飲食業、宿泊業が含まれる「娯楽・接客業（Leisure & Hospitality）」の雇用者が765万人減少した。一方、個人消費動向を示す3月の小売売上高は前月比-8.7%と、1992年の統計開始以来最大の減少率となった。
- ・ 企業部門では、3月の鉱工業生産が前月比-5.4%と、1946年以来74年ぶりの大幅な減少率となった。また設備投資の先行指標である3月のコア資本財受注も同-0.1%と2ヶ月連続で減少した。4月のISM景況感指数は、製造業が41.5、非製造業は41.8と景況感の境目である50を大幅に割り込み、約11年ぶりの低水準となった（図表3）。
- ・ 海外部門では、3月の財輸入は前月比-2.1%と減少したが、財輸出は同-6.5%と輸入を上回るペースで減少した。この結果、貿易赤字（財、▲644億ドル）幅は3カ月ぶりに拡大した（図表4）。赤字額を国別にみると、最大の赤字国である対中国（▲155億ドル）の赤字幅は縮小が続いた一方、対カナダ（▲26億ドル）、対イタリア（▲28億ドル）が拡大した。
- ・ 物価指標のうち、FRBが重視するコアPCEデフレータは2%の目標水準を下回る動きが続いている。3月は前年比+1.7%の伸びにとどまった（図表5）。



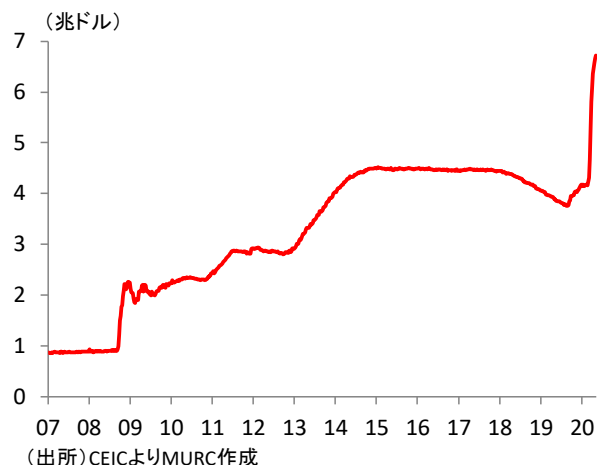
【金融政策・金融市場】

- FRB は4月28～29日に開催した連邦公開市場委員会（FOMC）で、ゼロ金利政策（0.00～0.25%）および量的緩和政策を据え置いた（図表6、7）。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、FRB は3月15日の大幅利下げ（▲1.0%pt）や同23日の債券購入額の事実上の無制限化、4月9日の中小企業や地方自治体などへの資金供給決定など、矢継ぎ早に対応してきたことから、当面、政策効果を様子見する方針とみられる。
- 金融市場をみると、ダウ平均株価は、3月23日に約3年4ヶ月ぶりの安値（18,591ドル）をつけたが、その後、経済活動再開への期待からやや持ち直している（5/8 終値 24,331ドル）（図表8）。一方、長期金利は世界的な景気減速懸念から0.6%台近傍で推移している（図表9）。

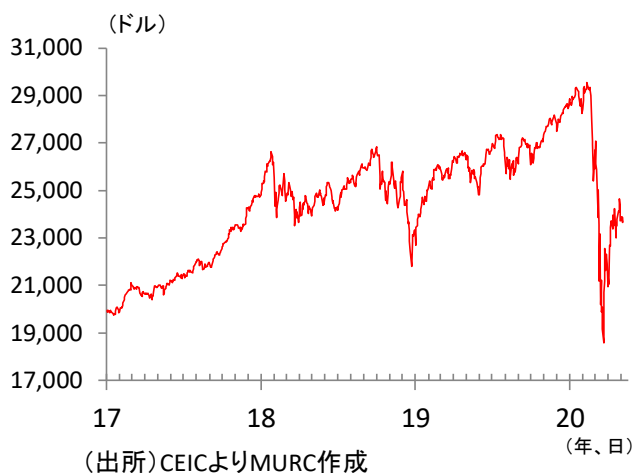
図表6：政策金利



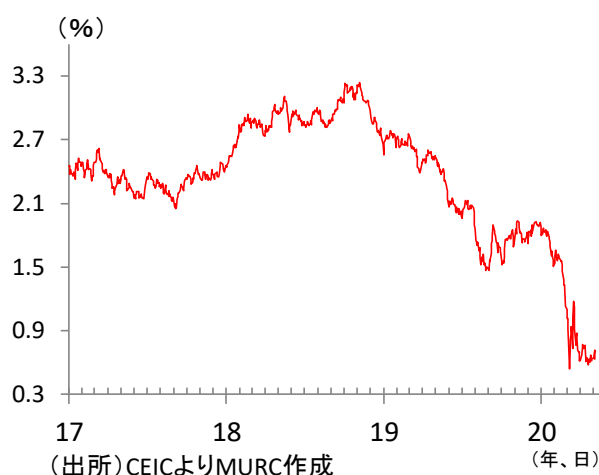
図表7：FRB 総資産



図表8：ダウ平均株価



図表9：長期金利



ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp